

令和3年度事業計画

新型コロナウイルスの世界的感染拡大は、100年に一度とも言える未曾有の経済ショックをもたらしています。昨年、世界各国で感染拡大に対応するためロックダウン等の感染防止対策で急速かつ深刻な景気後退が見られ、サプライチェーンの大規模な寸断が度々生じました。国内でも感染拡大により、緊急事態宣言が二度発出されるなど感染防止に最大の努力が図られています。各国の製薬会社や研究機関では、さまざまな種類の新型コロナウイルスのワクチン開発が進められ、昨年からは英国や米国でワクチン接種が始まり、わが国でも2月から医療従事者への先行接種が始まりました。その後、高齢者、基礎疾患を有する方の順に進められ、入善町でも高齢者の接種が5月から行われます。今後、世界経済は回復基調が続くと見込まれますが、人類の新型コロナウイルスとの戦いも続くと思われまます。

近年、日本では少子高齢化が急速に進行し、人口が減少する中で、社会経済の活力を維持するため、働く意欲がある誰もが年齢にかかわらずその能力を十分に発揮できるよう高齢者が活躍できる環境整備が図られており、65歳までの雇用義務に加え本年4月1日から70歳までの就業機会を確保するための処置を講ずる努力義務が施行となりました。一方、新型コロナウイルス関連倒産の発生件数が1,000件を超え飲食店、建設・工事業、ホテル・旅館が業種別上位をしめています。高齢者の就業にあたっては就業先事業所の減少、就業時間の短縮、就業による感染への恐怖など大変厳しい状況が続いています。当センターでも会員の就業が事業所の計画変更により、従業員による対応により契約解除、就業時間の短縮や自宅待機など同様の状況が表れています。

今年度のセンター運営にあたっては、会員の感染防止対策を徹底し発注者から安心・安全の信頼を得るとともに引き続きの契約継続に努めます。また、アフターコロナとして仕事の受注や会員の就業について変化する町民のニーズを把握するとともにオンライン上でのコミュニケーションでは、約束や納期を守ること、返信を必ず行うことが重要となることから将来にわたり継続可能なあり方を検討、実施することでシルバー人材センターの発展に努めます。

そのためにも、会員の皆様の理解と協力が必要となります。今後の運営が一段と厳しくなっている中で、役職員はもちろん会員1人ひとりがこれまで以上の創意・工夫を重ね各々の経験と知恵を活かしながら「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与できるよう努力し、より一層の地域の皆様のご理解が得られるよう令和3年度事業計画を次のように取り組んで参ります。

I. 基本方針

1. 中長期的な事業の推進（会員確保、就業機会確保の推進）
2. 安全・適正就業の推進
3. 高齢者活用・現役世代サポート事業の推進
4. 研修・講習の開催
5. 健全な財政運営
6. 互助会への協力

II. 実施計画

1. 中長期な事業の推進

シルバー人材センターの将来にわたり継続可能なあり方について、あらゆる手段を講じて機能強化を図ります。

- (1) 会員による友人、知人へ「ひと声」の口コミ運動による会員紹介等を展開し、「新入会員」の確保を図る。
- (2) ポイント制度について会員に周知するとともに各種行事等へ積極的参加の推進と退会抑止を図る。
- (3) 「教養講座」、「趣味の講座」を開催し、会員の魅力あるセンターを目指す。
- (4) 空き家・空き地管理事業、ワンコインサービス事業等を展開し、地域の環境整備、人にやさしく住みよい街づくりに貢献する。
- (5) 町の広報紙の活用はもとより「シルバーだより」、「ふれあいだより」及び「ホームページ」、「CATV」で実施事業の広報をする。
- (6) 事務所、町内施設にセンターでの就業情報の掲示、また、会員が行う仕事について事業所等へのよびかけ。
- (7) 社会奉仕活動、イベント等を通して町民へシルバー人材センターをアピールする。
- (8) 就業会員の様子やセンターの活動を DVD に収録し入会説明会、イベントにてセンターを PR する。
- (9) 「CATV」による会員募集及び企業、家庭への仕事の受注案内。

2. 安全就業の徹底と適正就業の推進

安全就業は最も重要な課題であり、重篤事故の防止と事故の撲滅を目指し「危険ゼロ」を重点目標とし、「安全ミーティングの実施」「安全装備品使用の徹底」「健康診断受診の奨励」を図り会員の意識高揚を図り安全就業・健康管理及び交通安全の推進に努めるとともに、ルールを守らない会員には注意警告、指導等を行う。

適正就業ガイドラインにより発注者及び会員に適正就業の周知を図り、

法令遵守にそった就業により、会員が安心して働ける環境を整える。

- (1) 職群班研修等にて事故発生、事故防止策などの周知徹底
- (2) 就業現場のパトロール強化
- (3) 「臨、短、軽」の就業形態のコンプライアンスを徹底する
- (4) シルバー連合会と連携し、労働者派遣事業及び有料職業紹介事業の推進

3. 高齢者活用・現役世代サポート事業の推進

事業所、一般家庭等へシルバー派遣、有料職業紹介事業並びに請負による就業を促進するため、各種事業所訪問、また、高齢者活躍人材育成事業の講座受講での資格取得及び取得による新たな就業の確保に努め、就業延人員の目標数値を達成する。

4. 研修・講習の充実

- (1) 現会員のスキルアップと後継者育成のための技能講習等を事業委員会と合同で継続して開催し知識、技能の向上を図り、就業機会の確保等に努める。
- (2) 富山県シルバー人材センター連合会が実施主体となり行っている高齢者活躍人材育成事業の受講者の入会を図り、新たに人手不足分野の就業を確保する。

5. 健全な財政運営

運営の合理化による経費の削減を図るとともに、事業費補助金の有効活用を図る。

6. 互助会への協力

会員互助会による会員相互の親睦と連帯意識の高揚のため、自主的な福利厚生の実施に協力する。